

スーパーマーケット販売統計調査資料

2025年7月実績 速報版

6月実績 確報版

(2025年8月21日公表)

調査資料概要

【パネル 270 社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:前月販売実績を速報値として公表 確報版:速報値に精度の高い集計を加え確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較 既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮三部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜		惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタアペーカリー、ファーストフード
		日配		豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム
		一般食品		調味料、瓶詰詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類
非食品				日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具
その他				テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城。山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州地方・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄
北日本日本海側	北海道の日本海側とオホーツク海側(宗谷南部)、東北日本海側
太平洋側	北海道の太平洋側とオホーツク海側(網走・北見・紋別地方)、東北太平洋側
東日本日本海側	北陸地方
太平洋側	関東甲信、東海地方
西日本日本海側	近畿日本海側、山陰、九州北部地方
太平洋側	近畿太平洋側、山陽、四国、九州南部
沖縄・奄美	鹿児島県奄美地方、沖縄地方

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2025年8月21日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2025年7月実績 速報版 (パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	110,902,885	100.0%	105.5%	104.3%
食品合計	101,377,946	91.4%	106.1%	104.9%
生鮮3部門合計	35,615,104	32.1%	103.8%	102.5%
青果	14,492,230	13.1%	103.9%	102.7%
水産	9,171,143	8.3%	103.0%	101.5%
畜産	11,951,732	10.8%	104.4%	103.1%
惣菜	12,412,982	11.2%	106.6%	104.8%
日配	22,955,865	20.7%	106.9%	106.2%
一般食品	30,393,994	27.4%	108.0%	107.1%
非食品	6,870,147	6.2%	98.2%	98.1%
その他	2,654,835	2.4%	101.5%	101.0%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	14,843,778	43	105.7%	103.8%
関東地方	41,507,642	73	106.6%	105.2%
中部地方	13,474,852	53	106.0%	104.7%
近畿地方	24,271,444	44	104.6%	103.4%
中国・四国地方	11,269,874	34	104.7%	104.8%
九州・沖縄地方	5,535,297	23	99.7%	100.0%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	548,618	46	103.1%	103.1%
4~10店舗	4,645,476	84	103.5%	102.9%
11~25店舗	8,832,849	48	105.7%	104.4%
26~50店舗	19,372,422	46	104.5%	103.6%
51店舗以上	77,503,522	46	105.9%	104.5%

集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	108,924,338
総店舗数 (店舗)	8,408	店舗平均月商 (万円)	13,190
総売場面積 (㎡)	14,102,729	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.9

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2025年8月21日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2025年6月実績 確報版 (パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	107,481,349	100.0%	104.4%	103.1%
食品合計	98,595,649	91.7%	104.7%	103.4%
生鮮3部門合計	35,319,958	32.9%	101.9%	100.4%
青果	14,358,193	13.4%	100.8%	99.6%
水産	8,665,402	8.1%	101.0%	99.4%
畜産	12,296,363	11.4%	103.8%	102.2%
惣菜	11,717,801	10.9%	105.5%	103.7%
日配	22,084,319	20.5%	105.2%	103.8%
一般食品	29,473,571	27.4%	107.7%	106.7%
非食品	6,526,427	6.1%	100.3%	99.6%
その他	2,359,320	2.2%	101.6%	101.2%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	14,467,731	43	103.9%	102.0%
関東地方	40,134,649	73	105.9%	104.2%
中部地方	12,977,505	53	102.9%	101.8%
近畿地方	23,762,405	44	103.8%	102.6%
中国・四国地方	10,810,635	34	103.8%	103.8%
九州・沖縄地方	5,328,424	23	102.3%	102.7%

保有店舗数別集計

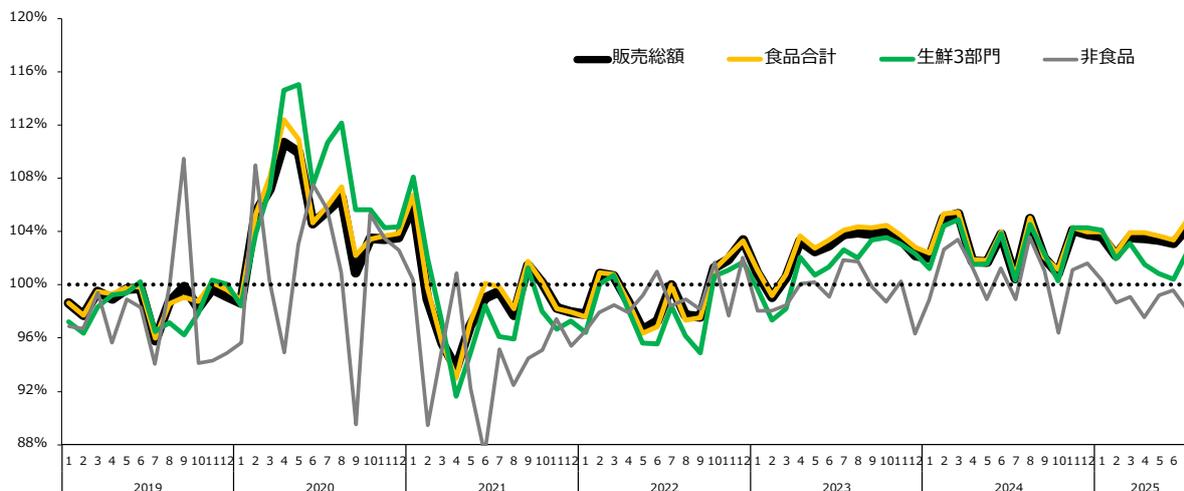
保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	535,433	46	99.9%	101.5%
4~10店舗	4,496,110	84	102.2%	102.1%
11~25店舗	8,507,371	48	104.4%	103.5%
26~50店舗	18,789,009	46	103.2%	102.5%
51店舗以上	75,153,426	46	104.9%	103.3%
集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	105,495,270	
総店舗数 (店舗)	8,398	店舗平均月商 (万円)	12,798	
総売場面積 (㎡)	14,091,640	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.6	

※売上高は税抜金額

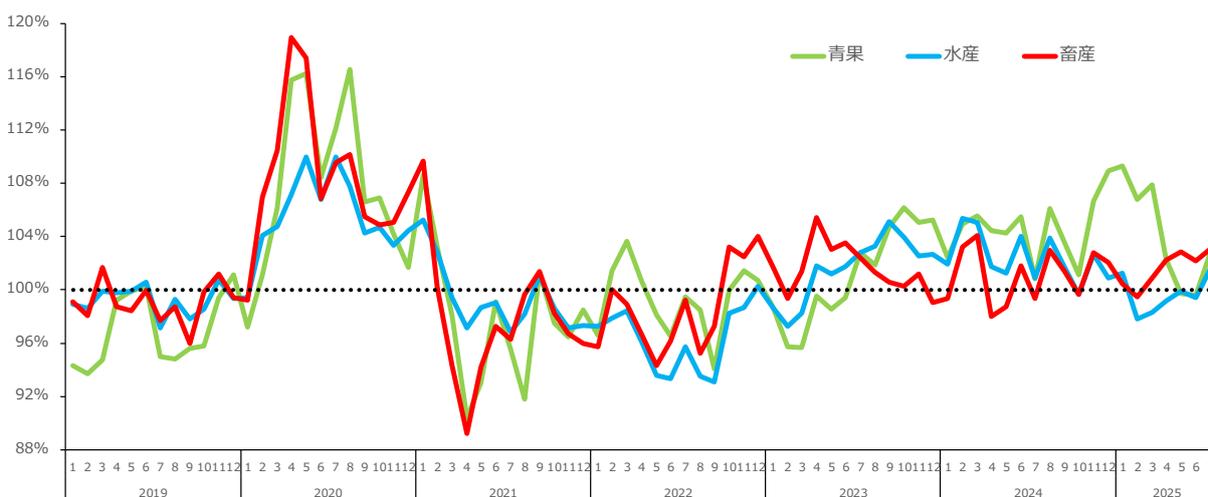
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計調査 前年同月比（既存店）推移 2019年1月～

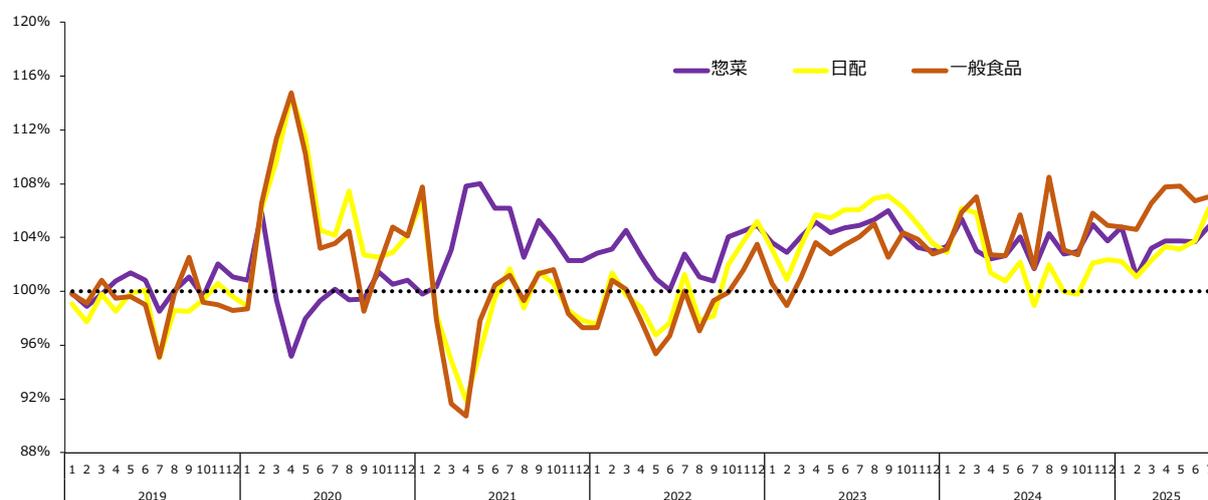
総売上高・食品合計・生鮮3部門・非食品



青果・水産・畜産



惣菜・日配・一般食品



※2025年7月実績は速報版

2025年7月 エリア別気候状況

7月の気温：気温は、北・東・西日本でかなり高かった。日本の月平均気温は7月として最も高かった

上旬：北日本、東日本、西日本ではかなり高かった。

中旬：北日本ではかなり高かった。東日本、西日本では高かった。

下旬：北日本、東日本、西日本ではかなり高かった。

2024年7月との比較：北日本と東日本日本海側で前年より高くなった

	平年との比較 (°C)						今年と前年との差 (°C)		
	2025年7月 (今年)			2024年7月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北日本 日本海側	4.8	4.0	4.3	1.7	2.3	1.7	3.1	1.7	2.6
太平洋側	5.4	3.2	5.0	3.8	2.9	2.9	1.6	0.3	2.1
東日本 日本海側	4.0	3.6	3.2	2.4	0.8	2.0	1.6	2.8	1.2
太平洋側	3.9	1.1	2.4	3.5	0.7	3.1	0.4	0.4	-0.7
西日本 日本海側	3.9	1.6	2.2	3.0	0.2	2.3	0.9	1.4	-0.1
太平洋側	3.5	0.9	1.2	2.9	0.2	2.2	0.6	0.7	-1.0

平年差

+2°C以上

+1°C以上

-2°C以上

-1°C以上

前年差

+2°C以上

+1°C以上

-2°C以上

-1°C以上

7月の日照時間：日照時間は、全国的にかなり多かった

上旬：北日本太平洋側、東日本、西日本ではかなり多かった。北日本日本海側では多かった。

中旬：北・東日本日本海側ではかなり多かった。北日本太平洋側、西日本では多かった。

下旬：北日本太平洋側、東日本、西日本ではかなり多かった。北日本日本海側では多かった。

2024年7月との比較：全国的に前年より多くなった

	日照時間 平年比 (%)						今年と前年との差		
	2025年7月 (今年)			2024年7月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北日本 日本海側	137	137	145	81	145	73	56	-8	72
太平洋側	149	123	171	124	150	103	25	-27	68
東日本 日本海側	174	189	198	80	86	103	94	103	95
太平洋側	165	117	179	149	71	150	16	46	29
西日本 日本海側	247	120	178	117	64	139	130	56	39
太平洋側	200	106	141	164	76	141	36	30	0

平年差

平年比150%以上

平年比125%~149%

平年比50%以下

平年比51%~75%

前年差

+50%以上

+25~49%

-50%以下

-25~-49%

7月の降水量：降水量は、北・東・西日本日本海側と北日本太平洋側でかなり少なかった

上旬：北日本日本海側、北日本太平洋側、東日本日本海側、西日本ではかなり少なかった。東日本太平洋側では少なかった。

中旬：東日本太平洋側、西日本太平洋側では多かった。東日本日本海側ではかなり少なかった。北日本太平洋側では少なかった。

下旬：北日本太平洋側、東日本、西日本日本海側ではかなり少なかった。北日本日本海側、西日本太平洋側では少なかった。

2024年7月との比較：北日本と東・西日本日本海側では前年よりかなり少なくなった

	降水量 平年比 (%)						今年と前年との差		
	2025年7月 (今年)			2024年7月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北日本 日本海側	22	98	38	135	59	307	-113	39	-269
太平洋側	43	61	21	99	33	201	-56	28	-180
東日本 日本海側	6	14	0	158	120	128	-152	-106	-128
太平洋側	43	151	16	37	158	43	6	-7	-27
西日本 日本海側	3	78	1	106	206	30	-103	-128	-29
太平洋側	15	192	26	48	186	20	-33	6	6

平年差

平年比150%以上

平年比125%~149%

平年比50%以下

平年比51%~75%

前年差

+50%以上

+25~49%

-50%以下

-25~-49%

気象庁ホームページ「2025年7月の気候」を参考に事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2025年8月調査結果（7月実績）
（2025年8月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

8月調査（7月実績）結果概況

現状判断DIは再び50を回復

7月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DIの現状判断は前月から+2.2の50.2、見通し判断が前月から+1.5の45.5となり、共に小幅に改善し、現状判断は、1月以来6ヵ月ぶりに50を回復した。

経営動向調査では、売上高DIは二桁プラス水準まで上昇、収益DIもプラス圏に回復した。生鮮品仕入原価DI、食品仕入原価DIが上昇したことで販売価格DIは高水準を維持。客単価、来客数DIも前月より上昇した。

カテゴリー動向調査では、非食品を除くカテゴリーで前月より上昇、DIはプラス圏を記録した。米価格の高止まりと備蓄米放出による品薄感の解消と点数増、飲料や涼味などの好調により一般食品DI、猛暑による調理敬遠志向などを背景に惣菜DIが二桁プラス圏を維持している。(カテゴリー別動向に詳細掲載)

景況感調査は現状、見通しともにDI小幅な改善をみせたものの、水準としては、景気判断DIに比べ、他のDIは低水準で推移している。(長期傾向はP11参照)

7月は、平均気温が歴代1位となるなど記録的な猛暑を受け、飲料、涼味など夏物商材を中心に堅調な販売動向となった。備蓄米の流通後も銘柄米は高止まりし、関連品、麺類など代替商品を含め売上伸長が続いた。

一方で水産・畜産の相場高騰、食品価格の上昇傾向は続いており、消費者購買意欲DIの伸び悩みにもみられるように、消費者の節約志向による販売数量減少への警戒感は根強い。また記録的な猛暑により、日中の来客数減少と朝・夜への来店シフトが顕著にみられたほか、頻発する豪雨の発生などもあり、販売体制や調達の見直しを迫られているといえよう。引き続き、米の供給や価格動向にも留意と情報収集が必要となるだろう。

景況感調査

現状判断

景気判断DI 当月：50.2 (+2.2) 前月：48.0	消費者購買意欲DI 当月：45.2 (+1.6) 前月：43.6	周辺地域 競合状況DI 当月：46.0 (+1.3) 前月：44.7	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：48.3 (+2.1) 前月：46.2
--	---	---	---

見通し判断

景気判断DI 当月：45.5 (+1.5) 前月：44.0	消費者購買意欲DI 当月：43.4 (+0.5) 前月：42.9	周辺地域 競合状況DI 当月：43.1 (+0.6) 前月：42.5	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：46.3 (+1.7) 前月：44.6
--	---	---	---

経営動向調査 経営状況

売上高DI 当月：13.6 (+5.8) 前月：7.8	客単価DI 当月：15.7 (+2.4) 前月：13.3	来客数DI 当月：-0.9 (+4.2) 前月：-5.1	
収益DI 当月：3.2 (+3.5) 前月：-0.3	販売価格DI 当月：24.6 (+1.6) 前月：23.0	生鮮品仕入原価DI 当月：20.0 (+2.3) 前月：17.7	食品仕入原価DI 当月：25.5 (+3.8) 前月：21.7

カテゴリー動向

青果DI 当月：4.0 (+9.7) 前月：-5.7	水産DI 当月：0.7 (+5.0) 前月：-4.3	畜産DI 当月：3.1 (+0.9) 前月：2.2	
惣菜DI 当月：15.6 (+3.8) 前月：11.8	日配DI 当月：10.3 (+5.2) 前月：5.1	一般食品DI 当月：18.5 (+0.2) 前月：18.3	非食品DI 当月：-5.8 (-4.3) 前月：-1.5

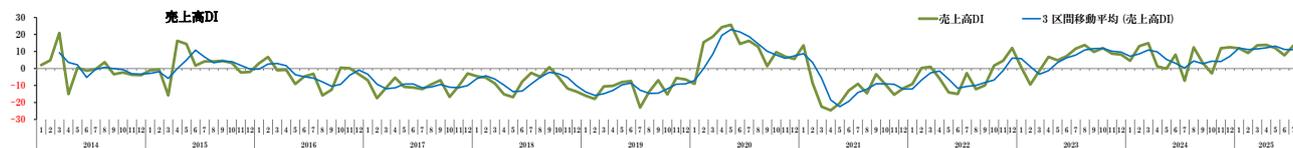
※DI値は前年同月との比較 / ()内は前月DIからの変化

結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

1. 売上高DI

前月から大幅に上昇し、二桁プラス圏

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	4.3	16.8	31.1	39.1	8.7	7.8
売上高 (当月)	1.4	14.1	25.4	47.2	12.0	13.6



2. 収益DI

前月から上昇、プラス圏を回復

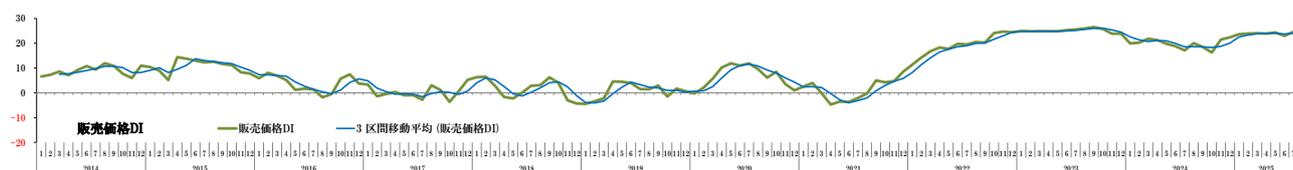
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	7.5	24.5	36.5	24.5	6.9	-0.3
収益 (当月)	5.0	21.3	36.2	31.2	6.4	3.2



3. 販売価格DI

前月から小幅に上昇、二桁プラス水準で推移

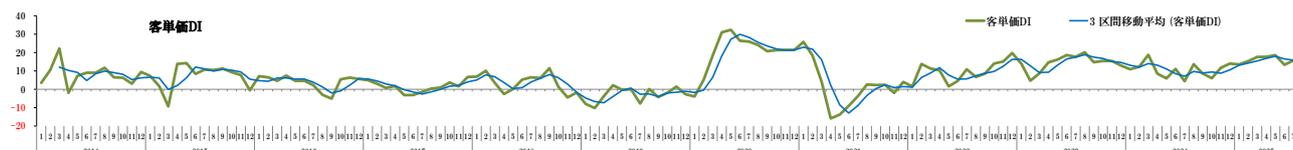
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	0.6	17.5	71.3	10.6	23.0
販売価格 (当月)	0.0	0.7	12.1	75.2	12.1	24.6



4. 客単価DI

前月から小幅に上昇、二桁プラス水準を維持

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.6	7.6	34.2	53.2	4.4	13.3
客単価 (当月)	0.7	5.6	31.0	55.6	7.0	15.7



5. 来客数 DI

前月から上昇、マイナス圏も回復傾向

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	7.0	34.2	35.4	19.0	4.4	-5.1
来客数 (当月)	3.5	27.5	40.1	26.8	2.1	-0.9



6. 生鮮仕入原価 DI

前月から上昇、二桁プラス水準で推移

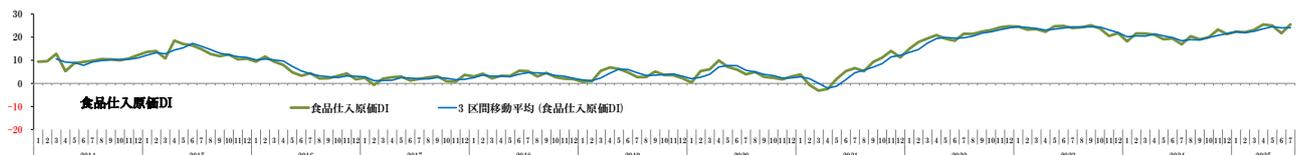
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.3	7.1	19.4	63.9	8.4	17.7
生鮮仕入原価 (当月)	0.0	5.8	18.7	65.5	10.1	20.0



7. 食品仕入原価 DI

前月から上昇、51 か月連続プラス圏

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.7	3.9	17.6	63.4	14.4	21.7
食品仕入原価 (当月)	0.0	1.4	13.8	65.9	18.8	25.5

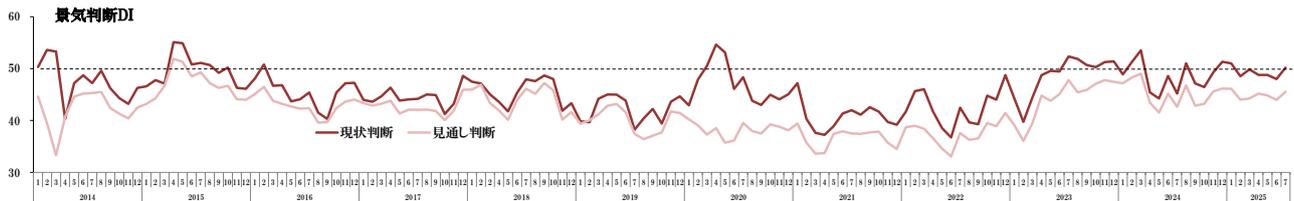


II. 景況感調査 (2014年4月～/周辺地域景気判断2010年4月～)

1. 中核店舗景気判断 DI

現状、見通し共に改善、現状判断は50台を回復

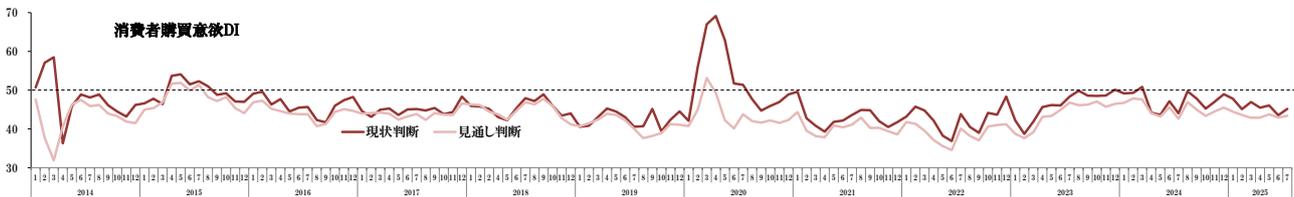
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	1.9	17.9	67.9	11.1	1.2	48.0
【現状】景気判断 (当月)	0.7	17.2	62.8	19.3	0.0	50.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	3.1	27.2	61.1	8.0	0.6	44.0
【見通し】景気判断 (当月)	2.1	23.4	64.8	9.7	0.0	45.5



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は小幅に改善、見通し判断は前月水準

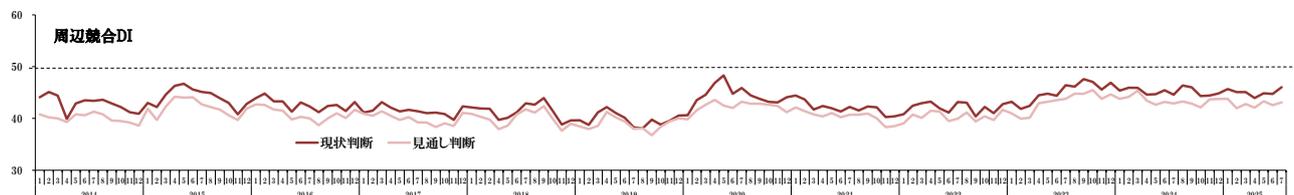
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.6	28.8	66.3	4.3	0.0	43.6
【現状】購買意欲 (当月)	0.7	24.8	67.6	6.9	0.0	45.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.6	30.7	65.0	3.7	0.0	42.9
【見通し】購買意欲 (当月)	1.4	28.5	65.3	4.9	0.0	43.4



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断は小幅に改善、見通し判断は前月水準

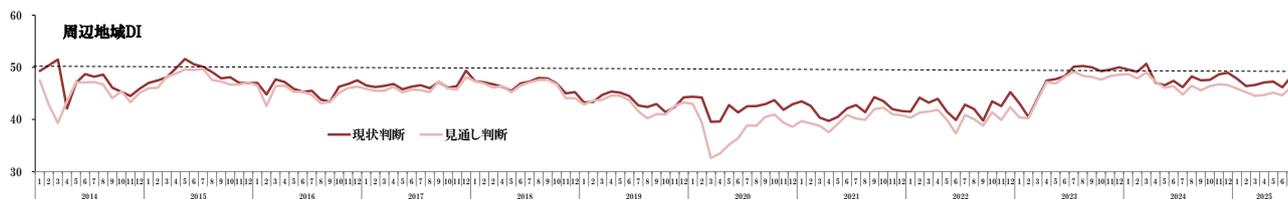
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	1.2	21.1	75.2	2.5	0.0	44.7
【現状】競合状況 (当月)	2.1	14.5	80.7	2.8	0.0	46.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	2.5	26.7	68.9	1.9	0.0	42.5
【見通し】競合状況 (当月)	3.4	21.4	74.5	0.7	0.0	43.1



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断、見通し判断共に小幅に改善

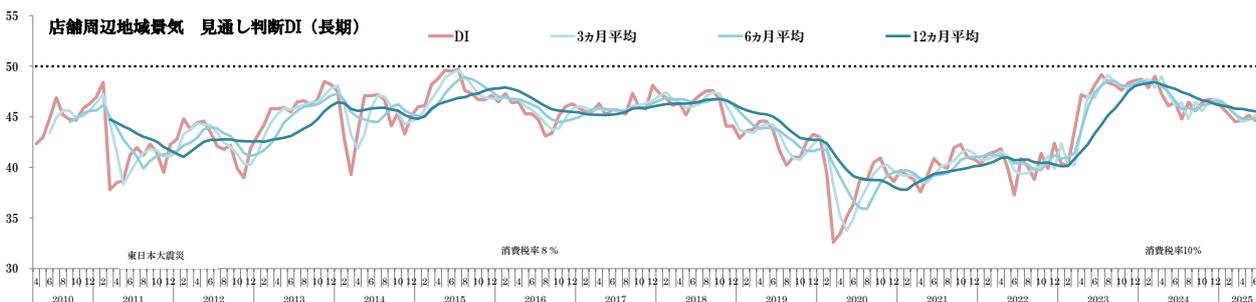
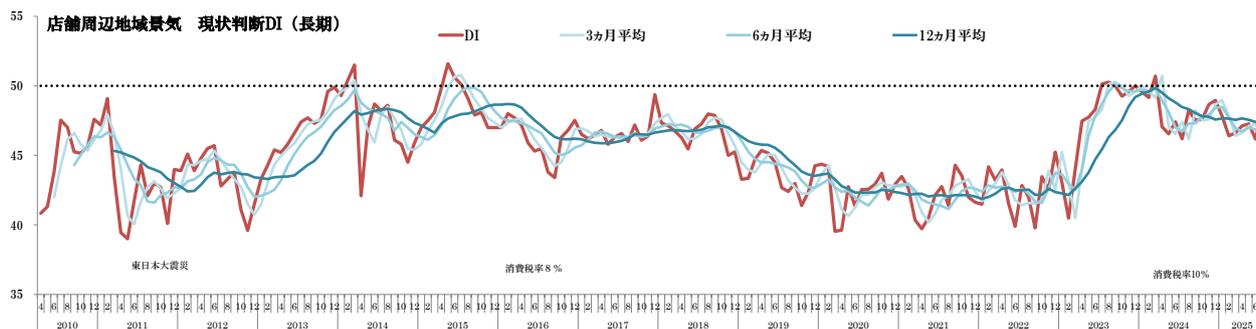
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	16.0	83.4	0.6	0.0	46.2
【現状】地域景気(当月)	0.0	11.8	83.3	4.9	0.0	48.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.0	22.1	77.3	0.6	0.0	44.6
【見通し】地域景気(当月)	0.0	18.2	78.3	3.5	0.0	46.3



・中核店舗周辺地域景気判断DI 長期傾向 (2010年4月～)

周辺地域景気判断DIは2011年3月の東日本大震災以降低迷を続けたが、12年11月から16ヵ月にわたる改善が続き、14年3月は現状判断DIが51.5を記録。14年4月の消費税率8%引き上げにより大幅に悪化するも徐々に持ち直し、15年5月には現状判断DIは51.6に達し、調査開始以来の最高値を更新した。その後15ヵ月間にわたり悪化傾向は続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷した。

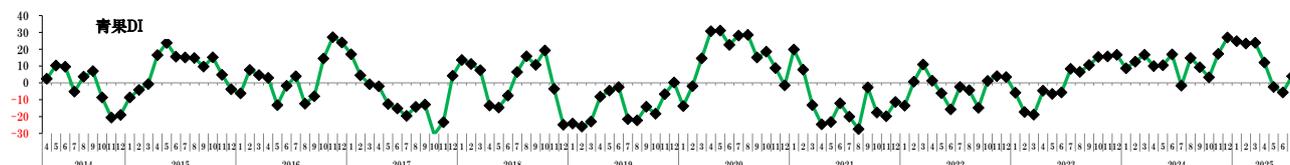
以後方向感の乏しい推移が続いたが、18年の後半から悪化傾向が顕著となり、19年7月には現状判断DIは42.3まで低下した。21年は、感染状況により上下する動きとなった。22年は、感染が再拡大した7月以降に大幅な改善をみせた。23年も改善が続き、7月には判断の分かれ目である50を突破、その後も高水準を維持した。24年前半に悪化したものの、後半は緩やかな改善傾向が続いた。25年はダウントレンドが見られるが、3月まで悪化幅は限定的となっている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：4.0（やや好調）

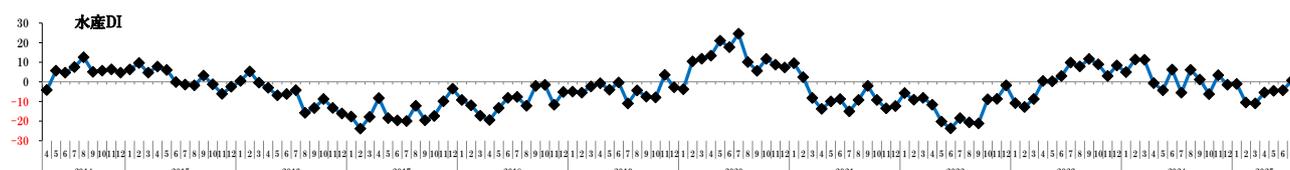
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	6.7	40.7	28.0	18.0	6.7	-5.7
青果（当月）	5.1	21.9	33.6	30.7	8.8	4.0



青果相場は前年より高値水準ではあるものの、全般に落ち着きもみられており、販売数量が底堅く推移し、やや好調となった。高い気温により、涼味、季節野菜(オクラ、みょうが、しょうが)、サラダ関連野菜が好調となった。一方でじゃがいも、たまねぎなど土物類は不調となった。一部には、高温による品質低下を指摘するコメントもみられた。国産果物ではスイカやメロン、輸入果物ではキウイ、カットフルーツも引き続き好調に推移した。

2. 水産DI：0.7（やや好調）

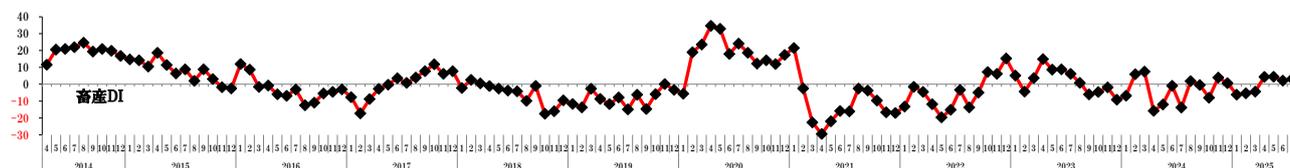
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	8.6	34.4	27.2	25.2	4.6	-4.3
水産（当月）	6.7	26.9	29.9	29.9	6.7	0.7



相場高の状況が続き、入荷も不安定な影響を受けているなか、マグロやサーモンなどの刺身類、海藻類などサラダ用商材の動きがよく、全体としては前年並みとなった。「土用の丑」は一の丑が土曜となり好調な店舗が多いが、大型店との競合や、国産品の相場高による輸入品シフトで伸び悩んだ店舗もみられた。アジ・イワシは豊漁で好調な一方で、生カツオは不漁で不調とする声が多く、魚卵・塩干も厳しい状況が続いた。

3. 畜産DI：3.1（やや好調）

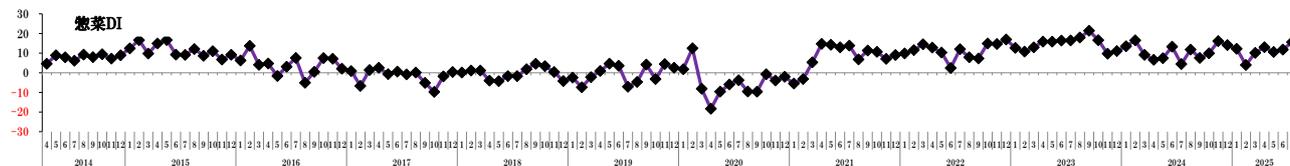
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	5.3	24.5	35.8	25.2	9.3	2.2
畜産（当月）	5.2	25.2	31.9	27.4	10.4	3.1



相場の高騰傾向が続いており、牛肉の不振と豚肉・鶏肉への需要シフトが継続している。牛肉は国産、輸入共に高値推移が続き苦戦傾向だが、猛暑を追い風に週末のBBQ、焼肉需要は好調、味付け肉の動きもよかった。豚肉は冷しゃぶ用が伸長も、国産豚の価格高騰が続き、輸入豚が好調に推移した。鶏肉も価格高騰が続き、数量が伸び悩んだ。特売が打てない、利益確保に悩む、などのコメントが多くみられた。

4. 惣菜DI：15.6（好調）

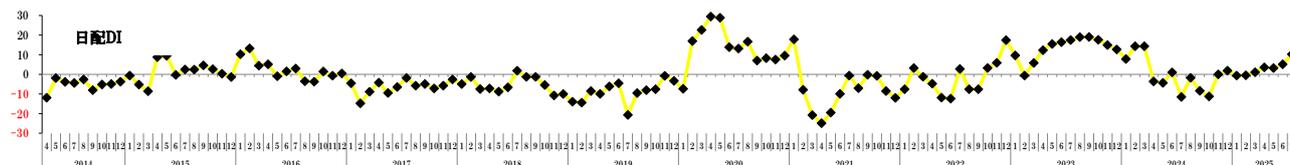
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	0.7	13.3	35.3	39.3	11.3	11.8
惣菜（当月）	0.8	9.0	27.1	53.4	9.8	15.6



コメ価格の高止まりにより、弁当・おにぎりなど米飯類が引き続き好調に推移した。猛暑により、家庭での調理を避ける傾向を追い風に、揚げ物・てんぷら類は堅調に推移。サラダ関連や冷惣菜の動きも良い。夏休みの昼食向け、土用の丑関連のウナギ弁当、丼物も好調に推移した。一方で生食を敬遠してか寿司類は動きが鈍いという声も。売価の見直し後も販売数量が堅調で、好調とのコメントが多くみられた。

5. 日配DI：10.3（好調）

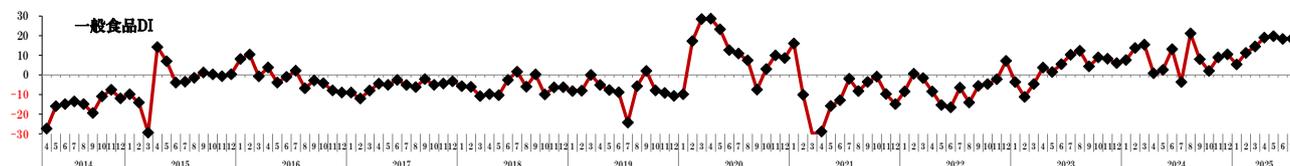
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	3.3	19.2	36.4	35.8	5.3	5.1
日配（当月）	2.2	12.5	38.2	36.0	11.0	10.3



猛暑により、アイス・氷菓やチルド飲料、涼味麺が好調。鶏卵は価格高騰が続き好調に推移、売上を牽引した。和日配では、納豆や梅干、ところてんや豆腐、漬物など涼味・即食・塩分補給関連の動きがよい。洋日配ではヨーグルトの好調が続く一方で、牛乳や、価格改定のあったチーズ類は伸び悩んだ店舗が多い。パン類は高温で好不調の判断がわかれている。冷凍食品は冷凍野菜を中心に引き続き堅調な推移で定着感がある。

6. 一般食品：18.5（好調）

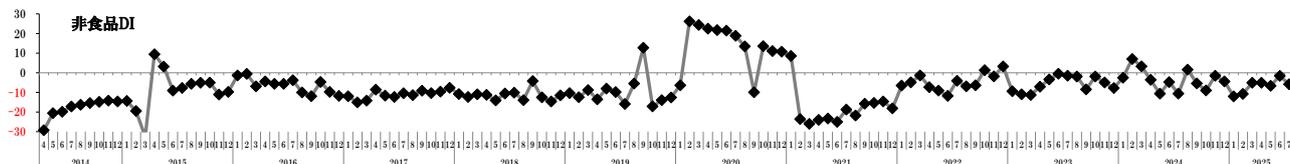
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	1.3	8.7	26.7	42.0	21.3	18.3
一般食品（当月）	1.5	8.2	25.4	44.8	20.1	18.5



米は備蓄米の入荷も増えて品薄が解消、販売点数が伸びる一方、銘柄米は価格が下がらず好調な動向が続いている。代替品として、レンジ米飯、パスタ、インスタント麺類なども好調を持続。猛暑により素麺、つゆなど涼味商材、飲料やビール・サワー類が好調、コーヒー類の動きもよい。台風や渇水に備えた備蓄品の動きもよかった。一方でスープ類、油、洋風調味料は伸び悩んだ。値上げ傾向が継続しており、単価が上昇する一方で、販売点数の伸び悩みを指摘するコメントが多い。

7. 非食品DI：-5.8（やや不調）

回答構成比（%）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	8.2	22.6	41.1	23.3	4.8	-1.5
非食品（当月）	10.0	33.8	32.3	16.9	6.9	-5.8



猛暑の影響で、日焼け止めや制汗剤、保冷剤など熱中症対策商品の動きもよい。汗をかくため、衣料用洗剤が好調とのコメントが多い。殺虫剤・虫ケア用品は高すぎる気温と少雨により、前年より伸び悩んだとのコメントもみられた。ティッシュペーパーやトイレトペーパーなど紙製品は値上げ後低迷している店舗が多い。ドラッグストアやホームセンターなどとの競合激化を指摘するコメントが引き続き多くみられた。

カテゴリ別DIによる好不調判断

かなり好調：～20 好調：20～10 やや好調：10～0
 やや不調：0～-10 不調：-10～-20 かなり不調：-20～

2025年8月調査（7月実績）キーワードTOP3

1. 猛暑の影響
2. 米の品薄解消
3. 食品価格上昇

（参考）2024年8月調査（7月実績）キーワードTOP3

1. 土日が一回少ない影響
2. 猛暑の影響、天候不良と前年との気温差
3. 節約志向の高まり

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

7月実績速報版 145社
 6月実績確報版 163社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp